



みどりの時計台で「民謡ライブ」！ 6/15

梅雨の足音が近付いてきた6月15日、みどりの時計台にて「おおとよ民謡酒場」を開催しました。

以前から大豊町に、音楽が楽しめて、食事をしながら憩える場を新たに作りたいて考えていました。

そして、初めてみどりの時計台を訪れた時から、雰囲気がとても気に入り、いつかここで、民謡ライブをやってみたいと思うようになりました。

その気持ちを、校長先生・用務員さんにお話してみたところ「それは面白い！やりましょう！」と快く力を貸してくださいました。

当日は、岡山から三味線奏者の皆さんをお呼びして、本格的な民謡・三味線の音色をお楽しみいただきました。

そして、テーブルを彩ってくれたのは、校長先生手作りの美味しい料理。オシャレなものから家庭的なものまで。美味しい料理で、皆さんお酒がどんどん進み、後半は飛び入りや民謡に合わせて踊ったり・・・かなり盛り上がり、正に「共に楽しむ空間」が実現しました。

三味線奏者の皆さんは、大豊町の魅力にすっかり魅せられて「必ずまた来ます！」と後ろ髪を引かれながら帰岡されました。

今後もこうした、音楽・料理・語らいが楽しめるような空間を企画していきたいと思います。どうぞご期待ください！（津本）



大田口ふれあいセンター図書コーナーのご紹介

日が短くなり、朝晩の冷え込みがより一層増してくるこの季節。秋といえば食の秋、スポーツの秋！だけじゃない！読書の秋でもあります。今回は読書の秋ということで、大田口ふれあいセンターの図書コーナーについて紹介します！

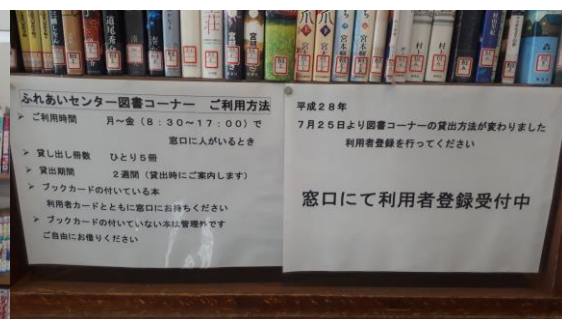
とその前に、皆さんはなぜ読書の秋というかご存知ですか？これは、秋が深まるにつれて、夜が長くなることに関係しています。古代中国では、「この過ごしやすい季節に灯をともして読書を勤しむべし」という学問の大切さを詠んだ詩があるそうです。いつの時も、学ぶことの大切さを忘れてはいけませんね。

図書コーナーには、地域の方が寄付してくださった本も沢山あります！理事長が勧める地球温暖化に関する資料や、これからの食を考える本など、若い人にも是非読んでもらいたい本が沢山あるとのことなので、みなさん活用してみてください！（中平）

ガレット出店予定

10/13（日）土佐の豊穰祭
（本山町・さくら市下）

10/14（月）ジビエグルメフェスタ
（ゆとりすとパーク）



2019レイホクゴロワーズ 8/21-23

1日目

①チーム分け



②レクリエーション



③ラフティング



④雑巾がけ



レイホク・ゴロワーズとは、大豊町・本山町・土佐町にて、様々なアウトドアスポーツを通じて、知力・体力・忍耐力・チームワークを駆使し、2泊3日かけて競う小学生対象のイベントです。

今年で6回目を迎えたこのイベントは、嶺北外・高知県外からの参加者もあり、40名もの小学生が8チームに分かれて競うこととなりました。

小学校の垣根を超え、学年もバラバラで編成された五人一組のチームが、最初は体育館でのレクリエーションで仲良くなり、ラフティング、クライミング、カヌー、サップ、マウンテンバイク、最後はトレイルランニングと、様々なアウトドアスポーツを楽しみながらも、コミュニケーションやチームワークを学んでいきます。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の助け合いの精神により成長していく様(さま)は、ただの体験イベントではなく、実は教育の要素が多く盛り込まれた奥の深いイベントだと感じています。

今年のメンバーは低学年が多く、しかも3分の2が初参加ということで、初日の夜は、ホームシックになる子、けんかする子など、ハプニングも多々ありましたが、そういったことを乗り越えて、最後は全員、自身に満ち溢れた表情でゴールするのです。低学年の頃はわけもわからず必死で走っていた子が、数年後、高学年になり立派なリーダーシップを発揮したり、初日はやんちゃで自分勝手だった子が、3日目には優しく低学年をフォローする、なんていうエピソードは数知れず。子供の能力・可能性というものに感動させられます。

このイベントが、10名ほどのボランティアスタッフと地域や保護者の協力のもと、毎年開催できていることを皆さんに知ってもらいたいです。そこには、自然の素晴らしさと厳しさを感じ、助け合う心を子供たちに伝えたい、という強い思いがあります。(野田)

2日目



⑤クライミング



⑥サップ&カヌー

3日目



⑦マウンテンバイク



⑧トレイルランニング



⑨ゴール!

ピックアップ in 大豊 vol. 3

絵が語る大豊の暮らしや生業(なりわい)の風物史

なつかしき昔の気配

第一印象で一目ぼれ、そして、これは独り占めするのはもったいない、何とか世に出すことはできないだろうか。絵の前でじっと腕組みの私でありました。大豊のとある風光明媚な場所、



手入れの行き届いた庭の中にこざっぱりとした平屋建ての家屋。竹垣の前の引き戸を開けると、中央に長椅子がポツンと置かれただけのひろい空間。一瞬はてな?の後、周りを見てビックリ。絵画がズラリ。

中で目を奪われたのが、むかしの大豊の四季折々の暮らしや生業を描いたたくさんの絵。ここにほんの少しを紹介させていただきました

たが、何とも懐かしく温かい心もちにさせてくれる絵のオンパレードです。

余談になりますが、以前の節と異なって、昔の思い出や自慢話を語り合うことは、脳に極めて良い影響を与えるとの外国の研究結果がある本に紹介されていました。この絵を前にするとたくさんの思い出がよみがえり、話の輪が出来そうに思います。



さて、ここで問題。このギャラリーは、一体いずこに?。ご存知の方もおい出と思いますが、作者の紹介と合せて答えは次号とさせていただきます。(鄙)



あなたの住む集落で「貸したい／売りたい」空き家をご存じないですか? 大豊町での暮らしを望む方がいます。文化・風習を継承したい方がいます。貸しても(売っても)いいという家主さんがいたら、ぜひご連絡ください!

080-8635-2253

求む! 山林・竹林 情報

予算も人手も無いけど「間伐したい、道をつけたい、竹の子収穫できる竹林にしたい!」など 手入れを行いたい山林・竹林をお持ちの方は、ぜひ一度ご相談ください。

予算が無くても、国の制度を利用して山林竹林の整備をすることができます!

大豊町へ移住を希望される方達の中には、自伐林家 兼業林家として生活を営みたい方達も少なからずいます。そんな方達と地域の皆様の為に「山林情報」を募集します。山守を任せるか任せないか、はヤル気のある本人をみて決めてください。

もちろん予算が付くなら自分でやりたい! という方も是非、ご相談ください。

当方の目標は集落に一軒以上の山師の永住です! 笑!

ご相談、お問い合わせは、
「里山・桜 結いの会」 代表 山本倫義(みちよし) まで。
電話: 070-4200-7086 (18時以降が繋がります)
大豊町穴内在住 (竹林を主とした山林整備事業2年目)